

病棟における口腔ケアに関する研究

研究分担者 弘中 祥司 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門教授

研究要旨

入院中の食道がん患者に対する口腔ケアを効率よく遂行するために、口腔内の実態調査を行った。計 20 名の口腔内状況を精査した所、我が国の歯科疾患実態調査より良好な結果となった。歯周組織検査は行っていないが、残存歯数が多い状況で、口腔ケアを遂行しなければならない事が解った。今後、歯周組織の状況を精査する予定である。

A．研究目的

周術期消化管外科患者の中でも特に食道がん患者において、人工呼吸器関連肺炎（VAP）予防、術後の誤嚥性肺炎予防、創感染による縫合不全の予防などの観点から口腔内を清潔に保つことが重要であることは知られている。したがって、これらの食道がん患者にとって、病院歯科やかかりつけ歯科医の存在や役割そのものは非常に大きいことが容易に想像される。今回、われわれは周術期食道がん患者の口腔内管理の予知性をもって効率的に進めるために、手術予定患者の口腔内の実態調査を行った。

B．研究方法

2011 年 10 月から 2012 年 9 月の 1 年間に食道がん手術のため、手術前に昭和大学病院歯科、昭和大学藤が丘病院歯科、昭和大学横浜市北部病院歯科・歯科口腔外科を受診した患者 20 名を対象とした。当該患者の診療録から、厚生労働省平成 23 年度歯科疾患実態調査の調査項目に準じて口腔環境の実態調査を後ろ

向きに行い、その結果を全国調査結果と比較検討した。

（昭和大学歯学部医の倫理委員会承認
2013-026 号）

C．研究結果

平均年齢は 69 ± 11 歳（男性：19 名、女性：1 名）、現在歯数は 21 ± 9 本、健全歯数は 14 ± 9 本、DMFT は 14 ± 9 本（うち D 歯数： 1.2 ± 2 本、M 歯数： 6.4 ± 8 本、F 歯数： 6 ± 5 本）であった。平成 23 年度歯科疾患実態調査から年齢階級 40 歳から 85 歳以上の者の平均値と比較すると、各階層の現在歯数・健全歯数ともに食道がん患者の方が多く、DMFT・処置歯数・未処置歯数・喪失歯数の項目においては食道がん患者の方が少なかった。以上より食道がん患者の口腔内は歯科疾患実態調査と比較すると、良好な状態であると言える。今回の調査では、う蝕の指標を用いての調査であったため、今後は歯周疾患等の項目も追加調査する必要性があると考えられた。

D . 考察

本調査は、主に東京都・神奈川県から来院している患者が対象となっている。通常、食道がん患者の実態としては男性に多く、飲酒や喫煙がリスクファクターとなるため、生活習慣病として齲蝕や歯周病が多いことが想定された。しかしながら、予想とは逆に口腔内は比較的良好である結果となった。これには、居住地の問題もあると推定される。今回の調査は、日常の口腔ケアの中で診査できる現在歯数を中心に調査を行ったが、今後さらに口腔内の特徴を把握するため現在は、調査対象期間を延長し喫煙・飲酒の有無等を含めた生活習慣や歯周疾患・咬合状態、更には術後の経過も追加調査を実施して行きたいと考えている。その結果から、病棟における口腔ケアの方法が明らかになってくると考えられた。

E . 結論

本調査から食道がん患者の口腔内は比較的良好であった。今後さらに口腔内の特徴を把握するため現在は、調査対象期間を延長し喫煙・飲酒の有無等を含めた生活習慣や歯周疾患・咬合状態、更には術後の経過も追加調査を実施予定である。

F . 健康危険情報

該当なし

G . 研究発表

1. 論文発表

1) 大岡 貴史, 井上 吉登, 弘中 祥司, 向井 美恵 . 口腔清掃方法の違いが経口挿管患者の口腔衛生状態に与える影響の検討 . 障歯誌 34(4) , 626-636 . 2013.

2. 学会発表

1) 大岡 貴史, 弘中 祥司, 向井 美恵 . 周術期における人工呼吸器関連肺炎の発症に関する因子について . 口腔衛生学会雑誌 , 63(2) , 206 , 2013.

2) 渡辺 晃子, 小嶋 博子, 小池 小夜子, 南出 純二, 弘中 祥司 . 口腔ケア推進の基盤整備事業を通しての関係機関の連携 . 日本公衆衛生学会総会抄録集 72 回 , 494 , 2013.

3) 大岡 貴史, 高城 大輔, 森田 優, 渡邊 賢礼, 中川 量晴, 内海 明美, 久保田 一見, 日山 邦枝, 弘中 祥司, 向井 美恵 . 周術期患者の口腔衛生管理による口腔内菌類の変化について . 障害者歯科 34(3) , 321 , 2013.

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし